

平成 26 年 4 月 14 日

会員各位

黒鉛化合物研究会  
会長 松尾 吉晃

第 112 回黒鉛化合物研究会の御案内

拝 啓 時下、ますます御清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、第 112 回黒鉛化合物研究会につきまして別紙（第 112 回黒鉛化合物研究会プログラム）のとおり御案内申し上げます。今回は、三菱重工業株式会社のご好意で、長崎造船所を見学させて頂けることになりました。講演は 4 件で、**神宮 敬枝** 氏（三菱重工業）、**尹 聖昊** 氏（九州大学）、**森口 勇** 氏（長崎大学）、**豊田 昌宏** 氏（大分大学）にお願いしております。このうち、神宮様のご講演は黒鉛化合物女史研究技術会の第 1 回目の企画となっております。

何かと御多忙の折とは存じますが、万障お繰り合わせの上、御出席下さいますようお願い申し上げます。詳細は別紙（第 112 回黒鉛化合物研究会プログラム）をご参照ください。

今回は三菱重工業 長崎造船所及び ANA クラウンプラザホテル長崎にて研究会を行います。研究会では ANA クラウンプラザホテル長崎に部屋（ツインルーム）を確保してありますので、宿泊希望の有無と 1 人部屋もしくは 2 人部屋の希望（2 人部屋の場合は男女の別も）を同封の出欠調査票に記入お願い致します（朝食付き：シングルユース：13,528 円／人、ツインユース：9,709 円／人）。会場の準備等がございますので、出欠調査票は 5 月 8 日（木）までに、メール添付あるいは FAX にて事務局まで御返送頂くよう宜しくお願いいたします。なお、見学に関しましては同業他社および参加者が多数の場合には御遠慮頂くことがありますので、あらかじめご理解下さいますようお願い申し上げます。

敬 具

**参加費：**

学界会員、学生：無料、業界会員：3,000 円、業界協賛会員：7,000 円、学界協賛会員、2,000 円、学界非会員：3,000 円、業界非会員：10,000 円（当日徴収）

**懇親会参加費：**

業界 6,000 円 学界 5,000 円 学生 3,000 円（当日徴収）

「学界」：官公庁所属者、「業界」：企業所属者）

## 第 112 回黒鉛化合物研究会プログラム

### 6月16日(月)

- 11:50～ 受付：ANA クラウンプラザホテル長崎  
12:20頃 大型バスにて移動  
12:50頃 三菱重工業(株) 長崎造船所 本館 到着 (参加者全員一緒に入場)  
12:55～13:00 移動 (本館 8F 大会議室)  
13:00～13:20 概要説明：三菱重工業(株) (8F 大会議室)  
13:25～13:30 移動 (本館からタービン工場へ)  
13:30～14:00 工場見学：タービン工場  
14:05～15:10 史料館見学  
15:10～15:20 移動 (史料館から本館へ)  
15:30～16:10 講演 (本館 8F 大会議室)  
三菱重工業(株) 神宮 敬枝 様《黒鉛化合物女史研究技術会 第1回》  
「モノづくりの楽しさ」  
16:20～16:40 バス移動 (本館から ANA クラウンプラザホテル長崎へ)  
17:00～19:00 懇親会 ホテル会場 1F さくらの間

### 6月17日(火)

- 8:30～9:00 受付：ホテル会議室 1F グラバーホール  
9:00～9:05 事務局報告  
9:05～10:00 講演 「自動車車体用ピッチ系炭素繊維の開発」  
九州大学 先導物質化学研究所 尹 聖昊 氏  
10:00～10:55 講演 「ナノ多孔カーボンの創製と電気化学特性」  
長崎大学大学院工学研究科 森口 勇 氏  
(10分休憩)  
11:05～12:00 講演 「炭素材料のエッジの評価とその利用について」  
大分大学工学部 豊田 昌宏 氏

#### 【注意事項】

- ・当日は工場を見学しますので、女性の方の履物で、ハイヒールやオープントウはご遠慮ください。
- ・工場の中は撮影禁止です。
- ・工場ではヘルメットを着用いただきます。

## 【三菱重工業㈱ 長崎造船所】

### 事業所概要

長崎造船所は、本工場、香焼工場、幸町工場、諫早工場の4工場を拠点に活動を展開しています。大型タンカーや豪華客船、LNG船、LPG船などの各種船舶、火力・地熱・風力発電プラント、環境保全設備、海水淡水化プラントなど、多岐にわたる製品を手掛けています。国内外に豊富な納入実績を有し、そのグローバルな活動と未来を見つめた先端的な取組みは、つねに世界の注目を集めています。

### 本工場



1857年（安政4年）徳川幕府の長崎鋳鉄所設立に始まる。かつては戦艦「武蔵」を建造した船台と30万トンドックがあり、自動車運搬船、コンテナ船、護衛艦など多種多様な船の建造・修理改造を行っています。タービン工場は年間生産能力400万キロワットで、100万キロワットの大型事業用、地熱発電用、船用から各種産業用までの高性能蒸気タービンを高度に自動化された設備で製作しています。また、最先端技術製品を手掛けるエレクトロニクス工場や燃料電池工場を有しています。

### 幸町工場



幸町工場は、本工場の北東、浦上川沿いにあり、MET過給器、特殊機械、鋳物などを製造しています。

### 香焼工場

1972年（昭和47年）に完成した三菱重工最大規模の工場。造船工場は長さ1,000メートルのドックをフルに生かした建造法でLNG船、LPG船、大型タンカーなどを効率よく建造しています。ボイラ工場は年間生産能力612万キロワットのわが国最大の規模で、最新鋭の自動化ラインと3,800トンの大型モジュールを製作可能な設備を有し、高性能・高品質の大型ボイラを製作しています。



## 史料館

この史料館は、長崎造船所が日本の近代化に果たした役割を永く後世に残そうと、1985年（昭和60年）10月に開設したものです。史料館に利用されている赤煉瓦の建物は、1898年（明治31年）7月三菱合資会社三菱造船所に併設の「木型場」として建設されたもので、三菱重工業株式会社発祥の長崎造船所に現存する最も古い建物です。1945年（昭和20年）8月の空襲に於ける至近弾や原子爆弾の爆風にも耐えて100年の風雪に磨かれた赤煉瓦は、わが国の近代工業の黎明期に於ける長崎造船所の華やかな門出を偲ばせるに十分です。館内は13コーナーに分かれ、1857年（安政4年）に長崎造船所前身の長崎鋳鉄所建設が着手されたときから現在まで900点を展示しています。日本最古の工作機械や海底調査の泳気鐘、日本で最初の国産蒸気タービンの技術の進歩を物語る珍しい品々のほか写真等で長崎造船所の歴史的変遷を示しています。



## 長崎造船所 地図



### ANA クラウンプラザホテル長崎グラバーヒル

長崎県長崎市南山手町 1-18 TEL 095-818-6601(代)

#### アクセス

JR 長崎駅より車で約 7 分。長崎空港よりリムジンバス（ながさき出島道路経由）で約 35 分：長崎新地バスターミナル下車→車で約 5 分。長崎自動車道長崎 IC より、ながさき出島道路経由出口より車で約 2 分。